

『国際理解教育』Vol.30 論文募集のお知らせ

本誌掲載の「編集規程」及び「投稿規程」に即し、『国際理解教育』30号に掲載する論文を募集しています。事前投稿申し込みは行っておりません。投稿規程を確認の上、9月30日の投稿期限までに編集委員会事務局（投稿規程参照）へご投稿ください。

《30号特集「平和と国際理解教育」の趣旨》

国際理解教育において、平和の実現は最重要な目標である。実際、本学会でも、平和の実現を希求する教育に関する研究や実践が積み重ねられてきた。それは、本学会が、ユネスコ1974年勧告「国際理解、国際協力及び国際平和のための教育並びに人権及び基本的自由についての教育に関する勧告」を契機に創立されたことに起因する。1974年勧告では、タイトルからも明白なように国際平和の実現が中心的課題の一つとされている。そして、平和の維持、促進、発展、強化が随所に高らかに謳われている。その1974年勧告を契機に創立された本学会の「設立の趣旨」では、「人々の心に平和の砦を築く」という精神の下に、ユネスコが永年唱えてきた平和と異文化理解を軸とする国際教育の必要性が今日ほど高まったことはない。～(中略)～東洋の太平洋に浮かぶ我が国が、21世紀に向けて、東洋と西洋を結び、南と北を繋ぎながら、世界の諸国民と平和共存するためには、人々の心に国際教育の重要性を訴えなければならない。」(傍点引用者)と、平和の重要性を提起している。こうして平和の文化の構築は、本学会の創立以来の最重要課題の一つとみなされてきた。

第二次世界大戦以降、多くの戦争や紛争、内戦が起こってきた。その度に、平和について考え、平和の実現に向けたさまざまな教育が展開されてきた。世界平和の実現には、不断の取り組みと問い直しが必要だからである。

しかしながら、現在の状況は、世界平和の実現とは程遠い状況にある。ロシアによるウクライナ侵攻が開始されて1年が経つが、いまだ終結の見通しが立っていない。新型コロナウイルス感染拡大と重なり、世界経済と国際秩序に大きな打撃を与えている。これまで当たり前享受してきた平和が揺らぎ、足元が崩れていくような不安な思いをしている人々も多い。2月6日に発生したトルコ・シリア地震でも、シリア内戦の影響で、被災地に国際的な支援を十分に届けることができない状態が生じている。

また、平和を戦争の不在に限定せず、「構造的暴力」や「文化的暴力」の不在を前提に、「消極的平和」と「積極的平和」の全体として広く捉えている平和学における平和の捉え方も広く認識されてきている。戦争が発生する複雑な諸要因を多様な観点から分析し、社会の構造や文化に焦点を当てて平和を構築しようとする教育アプローチも注目されてきている。

このような状況にある現在において、国際理解教育における平和と平和教育の重要性と課題、今後の展望について、あらためて考えることが必要と考えた。そこで、本特集「平和と国際理解教育」では、本学会会員により平和に関わる問題や課題、教育実践について、国際理解教育の観点から考究することを目的とする。多様な学問領域・問題関心からの投稿を期待したい。

国際理解教育 Vol.29

発行日 2023年6月20日 初版第1刷発行

編集 日本国際理解教育学会紀要編集委員会
発行 日本国際理解教育学会
JAPAN ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL
EDUCATION
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
名古屋市立大学大学院 人間文化研究科
曾我幸代研究室気付
日本国際理解教育学会事務局

発売 株式会社 明石書店
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174
振替 00100-7-24505
<https://www.akashi.co.jp/>
装丁 明石書店デザイン室
印刷／製本 モリモト印刷株式会社
ISBN978-4-7503-5606-8

 (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。